

## 【資料 2】

### 再編する場合のたたき台

#### 【案 1】

七郷小を志賀小に統合し、小学校は 2 校設置する。  
玉ノ岡中を菅谷中に統合する。

##### 課題

- ① 3 校分の建て替え又は長寿命化が必要となる。
- ② 菅小は、工事期間中仮設校舎による対応が必要となる。
- ③ 志賀小を七郷小に先行統合する必要がある。この場合、通学について対応が必要となる。
- ④ 上記③の対応ができない場合、志賀小は工事期間中仮設校舎による対応が必要となる。
- ⑤ 中学校は、菅谷中を玉ノ岡中に先行統合する必要がある。
- ⑥ 小学校の児童の人数は、別紙 1 のとおり予測される。
- ⑦ 通学について、スクールバス等の対応が必要となる。

#### 【案 2】

七郷小と志賀小を統合し、玉ノ岡中に施設一体型の小中一貫校を設置する。  
菅谷中に、菅谷小学校と施設一体型の小中一貫校を設置する。

##### 課題

- ① 2 校分の建て替え又は長寿命化が必要となる。
- ② 菅谷中及び玉ノ岡中は、工事期間中仮設校舎による対応が必要となる。
- ③ 児童・生徒の人数は、別紙 1 のとおり予測される。
- ④ 中学校の部活動、教員配置について課題となる。
- ⑤ 通学について、スクールバス等の対応が必要となる。

#### 【案 3】

小学校 3 校を統合し、菅谷小に設置する。  
中学校 2 校を統合し、菅谷中に設置する。

##### 課題

- ① 2 校分の建て替え又は長寿命化が必要となる。
- ② 菅谷小を志賀小に先行統合する必要がある。この場合、通学について検討が必要となる。

## 【資料 2】

- ③菅谷中を玉ノ岡中に先行統合する必要がある。
- ④上記②③の対応ができない場合、菅谷小及び菅谷中は、工事期間中仮設校舎による対応が必要となる。
- ⑤通学について、スクールバス等の対応が必要となる。

### 【案 4】

小学校 3 校及び中学校 2 校を統合し、菅谷中に施設一体型小中一貫校を設置する。

#### 課題

- ①工事期間中、菅谷中を玉ノ岡中に先行統合、又は仮設校舎による対応が必要となる。
- ②通学について、スクールバス等の対応が必要となる。

#### 【参考】

校舎の長寿命化については、相当の期間（文部科学省による解説では、2 年とされています。）と金額（文部科学省の解説では、改築費の 60%とされています。）が必要となります。千葉県柏市の例では、総費用約 14.8 億円（仮設校舎費用、外構工事等含む）対象施設面積 4,865 m<sup>2</sup>、工事期間は令和元年 7 月～令和 3 年 3 月となっています。